

イギリスで子宮移植が始まる



スウェーデンでの成功に続き、イギリスでまず10人の子宮移植を行うことが医師たちによって認められた。

今年春に発足したヘルスリサーチオーソリティによって、臨床施行の一部として許可が与えられた。

女性の約7000人に1人が子宮がなく生まれ、癌で子宮を失っている女性もいる。

もし子宮移植が成功すれば、イギリスで最初の赤ちゃんは2018年初頭にも生まれることになる。

ロンドンのクイーン・シャーロット&チエルシー病院の婦人科医で、19年間この計画に携わっていたDr.リチャード・スミスが、移植チームを率いる。

子どもが作れないことはその夫婦にとっての「天災」のようになり得るが、この技術は、代理母や養子縁組しか選択肢がなかった人々に希望を与えることになるだろうとDr.スミスは言う。

どのような施術になるか？



- 手術は約6時間。脳死状態にあるドナーから子宮が送られる。
- ドナーの臓器への体の拒否反応を防ぐために、移植時から妊娠中まで、レシピエントは免疫抑制剤を投与される必要がある。
- 1年間しっかりと女性の健康状態をモニターした上で、子宮に受精卵を移植。
- この受精卵はIVFを用いてその女性自身の卵子とパートナーの精子を受精させたもの。
- もし全てがうまくいけば8ヶ月後帝王切開にて赤ちゃんが誕生する。
- 子宮を再び取り出すまでに、夫婦は2回の妊娠の選択肢が与えられる。
- 必要がなくなれば外科チームにより子宮が取り出すこともできる。これによって女性はその後免疫抑制剤を投与する必要はなくなる。

Dr.スミスは言う「長年この計画には多くの意見がありました。ですが、もし子宮がなく生まれたり、子宮を失った女性たちに会えば、それがどれだけ心痛めることだったか分かります。計画を進めたのはそういうところからなんです」

チームによれば英国での移植には約50,000ポンド（約910万円）かかり、これは女性が自分で払えるような額ではない。

プロジェクトでは現在自己積立と一般からの寄付を募っており、これで今のところ2例の施術が行えるとしている。

「自分自身の子どもが持てるなんて素晴らしい」



ソフィー・ルイスさん。左はフィアンセであるティルデン・ラム。彼女は子宮移植のレシピエントとなることを希望している。

ソフィーは30歳。子宮移植の10人のレシピエントに選ばれることを希望した女性のひとりだ。

彼女は16歳の時メイヤー・ロキタンスキー・クスター・ハウザー症候群と診断された。子宮が発達していない体の状態だ。彼女は妊娠は不可能と言われていた。

ソフィーは今、長年付き合ったティルデン・ラムと来年の結婚の準備をしている。子どもを持ちたいという希望は時間が経つに連れ大きくなったと語る。

彼女は言う。「自分の子どもが持てるというのは素晴らしいことなんです」。

「特定の基準」

今回の試行に選ばれる女性は“子宮移植 UK”によって設けられた基準を全て満たしてはいけません。38 歳以下。長い期間のパートナーが居ること。そして健康的な体重があること。

300 人以上の女性が応募し、104 人が基準に合致した。

研究者たちは脳死状態のドナーから譲り受けた子宮を移植する計画だ。これはスウェーデンでの生体間移植が含まれる施行とは異なる。

イギリスの専門家は、ドナーから子宮を取り出す最初のオペは複雑でリスクがないわけではないため、様々な決断が必要だったと話す。

しかし女性たちが自分の子宮を譲ってもいいという希望を示す方法（例えばドナーカード等）は解決していく必要が未だある。

イギリス不妊協会は本国での進展を歓迎している。

協会長であるアダム・バーレン博士は言う。「これは、自分の卵子と代理母による IVF に頼るのではなく、こういった女性たちが自分自身で妊娠する可能性を開くものです」。

「イギリスのチームは長年をかけてこの研究に従事してきた。ですので実践へと進めることができるのを嬉しく思っています」。

昨年 10 月スウェーデンの女性が子宮移植により世界で初めて赤ん坊を出産した。しかしこれは生きているドナーからのものであった。（その記事はこちら <http://www.bbc.com/news/health-29485996>）

BBC NEWS 30 September 2015

<http://www.bbc.co.uk/news/health-34397794>